

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	FLOW西真美		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種・専門的視点を活かしたニーズに対する背景分析やアセスメントの実施とプログラムの実施。	・ニーズに対する背景要素から直接練習だけでない専門的なアプローチの実施。 →学習ニーズに対して、姿勢・目の動き・道具操作など専門的な視点から背景分析を行っている。	・学習グッズなど環境面でのアプローチ充実を図れるよう情報収集と用具の充実を図る。 ・専門性を活かした評価、分析、支援の質の向上を図っていく。
2	個別対応でニーズに合った専門的アプローチの実施。	・多様なニーズに対応できるように、多職種視点を活かした個別プログラムの実践。 ・事業所全体でカンファレンスやミーティングの機会を通して情報共有を行っている。 ・自分らしくいられる居場所づくりとしての場の設定を工夫している。	・個別対応であるがゆえに社会交流の直接場面でのアプローチの機会が少なく、社会交流の支援の充実を図っていく。 ・支援の質の向上とともに多様なニーズに対応した支援提供が行える事業所づくりを図っていく。
3	利用ごとに保護者の方との振り返りの時間の設定を行っており、保護者の方との相談・療育参加の機会を設けている。	・活動と目標のつながりの共有など、支援の背景やねらいについて支援ごとにお伝えしている。 ・事業所全体での共有を意識し、多職種の視点から保護者の方との相談、視点共有を行っている。	・相談しやすい関係づくりや、必要に応じて対応していけるように体制づくりを図っていく。 ・保護者支援をより充実していけるように、ペアトレなどの情報共有や、相談機会の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や学校との連携について。	・事業所でのアプローチと実際の生活場面での環境の違いなど、実際の生活場面や目標場面に応じた支援提供が難しい場合がある。	・実際の環境面を想定して、いつ・どこで・だれが・どのようになど、総合的な協働アプローチが図れるように工夫していく。 ・地域や学校との連携強化を図っていく。
2	個別支援にて実際の社会交流場面の支援の充実について。	・個別支援で実際の集団生活場面や社会交流場面での直接支援の機会が少なく難しさがある。 ・地域、学校との連携場面の少ない。	・社会交流技能のより評価、分析と、身近な大人との個別적인関わりを活かした交流技能の積み上げを図っていけるように工夫していく。 ・より地域、学校との連携強化を図っていく。
3	保護者やお子さん同士の交流の場や情報共有の場づくり。	・保護者会の設定がなく、交流の機会や情報共有の機会が限られている。 ・個別支援にて、お子さん同士の交流の機会も限られている。	・交流や情報共有の充実を図るため、イベントや機会の設定を工夫していく。 ・事業所を活用した地域でより充実した居場所づくりや相談できる場づくりを行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	FLOW西真美				公表日	2026年3月31日		
				利用児童数	12名		回収数	11枚
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1				配置基準は満たしており、個別支援の枠組みですが、必要に応じて支援に入るスタッフの調整など利用者の活動に応じた対応を行っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1				入口に段差や階段があるため完全なバリアフリー化は難しいですが、設備面での構造化や分かりやすい表示など利用しやすい生活空間をより検討していきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1				専門的な視点で捉え、分析し支援を実践していきけるように事業所全体で研修を重ねていきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1				ガイドラインに基づき、5領域との関連性との関連性を踏まえた支援計画を立てておりますが、目標につながる支援について具体的に設定し、説明・実践しているように心がけていきます。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1				各専門職の視点を活かして、多様なプログラムの提供が行えるように工夫していきます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2			6	年に1回フェスイベントにてごきょうだいや利用の有無に関わらず参加いただける機会を設けております。より地域の方との交流につながる場の開催を検討していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10				1	計画書を用いて内容に沿った説明を実施しております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	1	1		研修や情報の機会について、様々な形で発信・共有しているように検討していきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	11						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				支援ごとに振り返りの時間を設け、保護者の方と相談や改めて面談設定し、相談・助言が行えるようにしております。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11						
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1			4	保護者会の設定はございませんが、ご家族・ごきょうだいの方も参加可能なフェスイベント開催しております。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1			支援ごとの振り回りの時間や、適宜面談・相談の機会も設け、必要に応じて対応できる体制をとっております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1			専門的な視点やポイントを分かりやすく図解した資料を活用するなど意識しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2	各種委員会を設定し、マニュアル作成や年間計画に応じた訓練実施を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			3	年間計画の設定と備品や避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1	安全にご利用いただけるように、事業所活動及び、事業所の防犯体制を委員会活動も設け対策を実施しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1		2	事故等発生時は速やかな報告体制と、協力医療機関や迅速に適切な対応がとれるように体制を整え、実行しております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1			ひとり1人の目標につながる支援を提供し満足いただけるようにより研鑽してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		FLOW西真美		公表日 2026年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4	玄関からのトイレ、相談室の動線はバリアフリーになっており、表示など構造化の工夫を行っている。	事業所内外に階段がある。入口を入ってすぐに療育室までが手すりは付いているが階段になっている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		利用開始前・後、セッション後の清掃を実施している。子どもたちの活動に合わせてマットや物置き場など安全にまた分かりやすく活動できる構造化の工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		相談室があり、そこで机上の活動することも出来る。	活動内容や場所を自己選択・決定や相談ができるように、選択方法を工夫し、1人ひとりのお子さんが自ら意思表示と決定できるように工夫していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	定期的に事業所内でミーティングを開催し、業務の役割分担や見直しなど業務改善について検討する機会を職員参加で行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	普段から職員間で意見を出し合い、相談出来る雰囲気が出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者委員会を設定していない。	必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員研修とは別に、わからないことや別の意見を聞くことが普段から出来、お互い聞き合い勉強できる環境である。支援技術や知識について会社で職員研修会を定期的に開催している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムの作成とホームページにて公開している。	周知しやすい方法について検討していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		1人ひとりに応じた専門的な視点を活かしたアセスメントを実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		ミーティングや朝礼・終礼の機会を通して目標や支援の方針について、共有・検討できる機会を設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画書は利用児の個々のファイルに入れ、すぐに手に取れるようにしている。また計画書が新しく変わった時も随時個々のファイルに入れ、いつでも最新の計画書を見られる状態にしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		感覚プロファイルや臨床観察等を通して、お子さんの行動の背景を客観的に捉えるアセスメントツールや視点共有を活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインの5領域との関連性を踏まえた支援項目や内容を計画書に反映し、目標設定を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		その日一緒に入るメンバーでどのようなことをねらいにしようかなど、療育前に話し合っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		お子さんの様子や状況、目標に応じて、遊びを手段としたオーダーメイドなプログラム提供を行っている。 各種専門職の視点を活かしたプログラム提供を行い、固定化しないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		その日一緒に入るメンバーでどのようなことをねらいにしようかなど、療育前に話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		療育終了後や業務終了後に、ヒヤリハット・今日の良かった点や改善点などを出し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		職員間の共有の欄に記入したり、次週にどのようにつなげるかなどを話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		たくさんの中からその時自分がしたい遊びを探せるよう環境設定している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要であれば利用児の通園施設や相談支援員と情報共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3	保護者による送迎なので保護者を通して共有している。 保護者から行事や振り替え休日などの情報を聞くことで、日程の調整をすることはある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	保護者を通して情報をいただくことはある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	そのような機会はなかったが保護者の依頼があれば提供する。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	社内・社外の人員からスーパーバイズを受ける機会はあるが、地域の児童発達支援センターとの連携ではない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	普段の療育時はないがイベントは事業所の利用に関わらず参加いただけるため地域のこどもと活動する機会になっている。 園との交流は無いが、同室児との関わりや年に一度開催しているフェスで子ども同士の交流する機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	機会があれば参加したい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		療育後に必ずフィードバックの時間を設けており、そこで保護者と話すことを大切にしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		研修会情報など必要な情報提供は掲示等での共有を行っている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用計画の際に重要事項説明書にて十分な説明を行い、同意を得てから契約手続きを行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		必ず支援計画書を提示し、記載内容に沿った説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		療育後に行うフィードバックや、家族支援として相談室を使ってお話をすることも出来るようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4	保護者会としての開催はないが、年に1回フェスイベントを企画・開催し、利用の有無にかかわらずきょうだいの方も参加・交流可能な機会を設けている。	イベントの開催はするが、交流するかは保護者の自主性による。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情の窓口がある。また苦情があった時は職員間で共有し改善策を考えるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		公式ラインを通してお知らせをしたり、インスタグラムで施設の紹介を定期的に行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報保護について、職員間でどのような情報が個人情報にあたるか、どう取り扱うかについて確認し、扱いについて十分留意を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚情報等の活用や感覚的なコミュニケーションなど意思伝達・表現のための工夫を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		年に一度フェスを開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種委員会を設定し、マニュアル策定と利用者の方への情報周知、定期的な訓練実施を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCP策定と年間計画に基づく委員会活動、訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用契約の際に、必要事項の確認を行い、事業所共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	食事を提供することはないが、確認し、使用物品等でのアレルギー源への接触がないか確認・配慮している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		委員会にて必要な研修・対応・情報共有を行っている。定期的な遊具点検や活動環境のチェックなど必要な安全対策を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		安全計画を策定し対応している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		業務終了時の終礼で共有することを徹底している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		委員会にて必要な研修・対応・情報共有を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2	契約時に説明と了解を得ているが、計画書には必要な児童のみ記載している。		